

# ひかりのこ

8,9月園便り

聖ミエル幼稚園  
2018年8月20日

月主題：ゆったりと・弾む

## 「シンプルに生きる」

7月に、オーストラリアに住んでいる友人のSさん（女性）がお子さんと共に、2年ぶりに日本に帰ってきて、我が家に5日間ほど泊まってきました。

Sさんはもともと日本に住んでいた日本人ですが、日本でオーストラリア人のGさんに出会い、結婚し、10年ぐらい前にオーストラリアに戻ったのです。オーストラリア人のGさんは、うちの子どものための英語の先生。毎週我が家に家庭教師として来てくださっていました。そんな付き合いで、うちの家族がオーストラリアに行ったときには、泊めていただいたり、こちらに来た時には、わが家に泊まっていたり、という交流がずっと続いています。

GさんとSさんの家は、メルボルンから電車で1時間ほどの小さな町にあります。自然豊かで、何種類もの美しい鳥や、ボッサムなどの有袋類が、お家のバルコニーにやってくるようなところです。お店は、車で少し行かないとありません。そんなことから、彼女らは自分の生活をできるだけシンプルに、手作りするよう工夫しています。

我が家に来て、Sさんの洗剤は、固形石鹸一つ。髪も、体も、お茶碗も、全てこれで洗います。我が家のお風呂場には、洗剤がたくさん。それぞれが気に入っているシャンプーなどを使うため、ごちゃごちゃしています。

また、Sさんは家庭用洗剤に、「えひめAI」というのを手作りして使っています。「えひめAI」は、愛媛県の鬼北町で、水質浄化のために開発されたものです。ヨーグルトと、ドライイーストと、砂糖と、納豆と、ぬるま湯で作ります。これが、家じゅうの消臭、洗濯物の消臭、台所の排水溝のぬめり落とし、油落とし、そして、植物の活性に役立ちます。また、川を浄化させる優れものです。おまけに、全て、食品で作られるため、小さなお子さんがいても安心です。

5日間Sさん親子と過ごしてみて、日本で生活する私たちは、豊かなようで、本当の豊かさを持っていないなあ、と感じました。子どもたちに対しても、たくさんのもので与えるより、本当に良いものを選んで与えることが、とても大切なことであると感じます。

この考え方は、子育てや保育にとっても必要な考え方だと思います。「シンプルに」「本当に良いものを」子どもに与える保育を、聖ミカエル幼稚園も心掛けたいと感じました。

今では、私も「えひめAI」の愛用者です。もうわが家に消臭剤は必要なくなりました。畑のブロッコリーや、家の庭のルッコラや、ベビーリーフも、大きな葉っぱを青々と茂らせています。少しだけど、本当の豊かな生活にシフトチェンジしてきているわが家です。

園長 渡部 良子

## キリスト教保育

### 「しがみつく」

最近、誰かにしがみついたことがありますか？子どもたちにしがみつかれるのは日常茶飯事かも知れませんが、大人になると、よほどなことがない限り人にしがみつくことはありません。

いろいろ調べると、漢字では「獅噛つく」と書くとのこと。仏教の天界には十二神将という、武具をまとって怖い顔をした12人の武神がいて、信じる人を守ってくれるといいます。京都や奈良には国宝になっている神将像が多数あるそうです。一部の神将には、腰の辺りに獅子の毛皮を巻いた像があり、それがいかにも獅子が腰縄に噛み付いて離れないように見えるところから「獅噛つく」と言われるようになったという説があります。どう猛な獅子でさえ、つかまって助けを求めたい存在があるということでしょうか。

当然、私たち大人だって人間ですから誰かに弱音を吐いてしがみつきたい時、つかまりたい時があります。十二神将でもいいのですが、何しろ武神ですから怖い顔をしています。どうせなら優しい人にしがみつきたい。キリスト教詩人で八木重吉という人が書いた詩を紹介します。目には見えないイエス様ですが、十分しがみつくとはいえるのです。

「キリストを仰ぎて黙す けわしい路をおもう  
キリストにつかまろう キリストにつかまろう  
ふりはなされても ふり離されてもつかまろう」

チャプレン 司祭 下澤 昌